

【司会】

それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和 7 年 6 月 23 日、北区長定例記者会見を開始いたします。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。私、広報課長の村松です。どうぞよろしくをお願いいたします。

本日は、やまだ区長、政策経営部長の藤野、出産・子育て支援担当課長の森本、道路公園課長の市川が出席しております。

それでは早速ですが、やまだ区長、よろしくをお願いいたします。

【やまだ区長】

皆様、こんにちは。6 月の区長記者会見、始めさせていただきたいと思います。本日は JR 埼京線十条駅徒歩 1 分にあります、新しくできました区有施設です、ジェイトエルからお届けしております。

このジェイトエルは、十条らしさをキーワードに、スポーツ、ユニバーシティ、アクティビティの 3 つをコンセプトにしまして、世代を超えた交流する拠点として整備をいたしました。昨年 12 月 1 日にオープンした施設です。

施設に入ってくださいますと、広々としたラウンジがありまして、壁一面に特徴的な書架が目に入ります。その手前のラウンジはですね、お茶を飲んでいただけるようなスペースとして、若い方々にもご活用いただいています。予約なしで空いていればお座りいただけますので、ぜひ来ていただけたらなと思います。

また、書棚のストーリー性がここにはありまして、今までの図書館とは違った形で書架を楽しんでいただくスペースとなっています。本を眺めていると、自然にですね、スポーツ、ユニバーシティ、それからアクティビティ、この 3 つのテーマが浮かび上がるような工夫となっている飾りとなっています。で、チルドレンスペース。子どもたちのスペースは、大人も子どもも楽しめるような、絵本や児童書がそろっておりまして、貸出は行ってない分、いつでも手に取って楽しんでいただけるようになっています。

さらにその奥には、ものづくりや音楽、ダンス、動画編集などを楽しんでいただけるような多様な創作活動ができる設備も充実しています。この設備ですね、

区外と比べてもかなり最新鋭の機器をそろえておりますので、ぜひモノづくりで訪れていただいても楽しいと思います。本を読むだけではない、創造力を育む場所として、また多世代間、さまざまな世代の方々が交流していただく場所として、多くの方々に訪れていただけたらうれしいなと思っています。

開館時間は朝 7 時半から夜 10 時まで開いています。休館日は 12 月 29 日から 1 月 3 日まで。それ以外は毎日開館しています。ぜひ十条にお越しの方々、お立ち寄りいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。こちらの表紙の画のジェイトエルのご紹介でした。

それでは、今回の記者会見、7 つの項目についてご報告をさせていただきたいと思います。

まず 1 つ目です。「みんなで創る。北区新時代！」基本計画 2024 の中で掲げております 7 つの主要政策のうち 1 つ目、「区民サービス No.1 の行財政改革」の中から、区内共通デジタル商品券の発行についてであります。

7 月 1 日から発行となります。物価高騰対策として、今回、しぶさわくん Pay、PayPay 商品券が 5,000 円で 6,000 円分ご利用いただける、この PayPay を 7 月 1 日から 21 日までの申し込み期間で募集を開

始いたします。6 万口。ご応募が多数の場合には抽選とさせていただきますので、ぜひ多くの方々にご利用いただけたらと思います。これまでもデジタル共通商品券の方を発行させていただき、多くの方々からご活用いただいております。今回も区内の商店でお買い物をしていただけたらなと思っています。

申し込みにつきましては、QR コードまたはホームページからご覧いただきたいと思います。ご利用期間につきましては、令和 7 年 12 月 31 日まで使える内容となっています。よろしくお願ひします。

この区内共通商品券以外にですね、国が今、予備費として、予備費を活用した経済対策の発表をされています。この活用につきましても、区として今後どのような形で活用できるかについては公表させていただきたいと思っておりますが、まず第 1 弾として、物価高騰対策、区内共通デジタル商品券しゅさわくん Pay の発行、6 万口についてのご報告です。ぜひ多くの方々にご利用いただきたいです。よろしくお願ひいたします。

続きまして 2 点目です。「子どもの幸せ No.1」から、在宅子育て世帯を対象とした、「安心の託児とランチ付き講座」の新しい取り組みについてご紹介したいと思います。

在宅子育て世帯、主に 0、1 歳 2 歳のご家庭が多いと思います。区内では 0 歳児が約 76%、そして 1 歳児が 33%、2 歳児が 24%のお子さんたちが在宅として未就学のおさんがいらっしゃいます。この在宅子育て世帯、未就学児の子どもたちをどんどん応援していきたいということで、さまざまな事業をこれまで区としては取り組んでまいりました。

例えば、訪問型の産後ケアの充実ですとか、一時預かりショートステイ事業、また、今、国でも出されている、誰でも通園制度の活用や、都の他者とのつながりをつくるための一時、一定期間保育所に通う子育て応援モデル事業なども区としては取り組んでいます。

その中で、0 歳児のご家庭に関しては、4 か月訪問ということで、全戸訪問を保健師さんがします。ほぼ 0 歳児のご家庭には訪問できている状況です。加えて、1 歳児には 1 歳の輝きバースデーということで、児童館でお祝いをします。これも半分以上の方々のご活用いただいでいて、0 歳、1 歳と、おうちの中だけではなくて、児童館やさまざまな他者とのつながりができる機会があるのですが、2 歳児に向けての取り組みはもう一歩充実したいなということで、今回新たな取り組みを考えました。

安心の託児とランチ付講座です。2 歳児は特にですね。イヤイヤ期が始まる時期で、お母さん、お父さんとのお子さんの関係が難しくなる時期でもあります。そういった時期に、ママ、パパと一緒に外に出て、子どもを預けて、ママ、パパだけのさまざまな意見交換ですとか、講座を聞いていただき、リフレッシュをして、また子育てに頑張っていたく。そんなことを目的として事業をつくりました。

この映像がですね、先日開催されました第 1 回目の様子です。第 1 回目の講座内容は、骨盤セルフケア講座として、全員ママだったんですけども、ママの一番気になる骨盤セルフケアの講座、リクエストもあったということで開催をさせていただきました。私も当日現場に参加をしました。視察をさせていただきまして、やっぱりママ、パパ、ママですね。多くの方々がお子さんと離れて自分のための時間を、少しの時間ではあるんですけども、作れたということはずごくうれしかったという声を聞いて、この事業をつくってよかったなというふうに感じました。

年間で 4 回開催をいたします。四半期に一回の実施を予定しておりまして、この後、あと 3 回ですね、年度内に開催をしていきます。残り 3 回のうち 1 回はパパにも楽しんでいただけるような講座内容も今検討をしております。ママもパパも育児に頑張っていたくながら、でも時々自分のための時間をつくって、心のバランスを保っていただけたらうれしいなというふうに思っています。

この講座の中では、お子さんを預かって、それでママ、パパだけの講座、それとあとランチ、この一番

特徴的なのが、一緒にランチを食べていただく。お茶だけというのが結構あるんですけども、ランチが出される授業というのが、他の区も含めてあまりないと思います。ランチを食べながら、お母さん同士のコミュニケーションを図って、またみんなで連絡をとり合いながら、その後もコミュニケーションが図れるような、そんな仕組みにできたらいいなというふうに思っています。

ぜひ残り3回募集をさせていただきますので、ホームページの方ご覧いただき、2歳児のママ。パパ、ご応募いただけたらうれしいなと思います。よろしく願いいたします。募集に関しては、北区ニュースやSNSなどを通じて発信してまいります。

続きまして3点目です。こちら初めての取り組みとなります。「みんなで創る『北区二十歳(はたち)のつどい』」。このプロジェクトメンバーを募集したいと思います。

これまで成人式、そして二十歳(はたち)のつどいは、平成12年1月まで、区内の3会場で開催していました。翌平成13年からは、北とぴあで1か所の会社になりまして、会社を1か所にし、加えて運営も北区青少年委員会に委託をする形となってから25年間リニューアルされていっていませんでした。令和8年の1月12日の二十歳(はたち)のつどいから、新たなメニューとしてプロジェクター、プロジェクトメンバーを募集させていただき、区民の方々による企画を実現したいなと思っています。

活動期間は8月の6日から翌年1月の12日まで。この間、定期的にメンバーの方々には集まっていたきまして、当日の二十歳(はたち)のつどいの中でどんなことをやろうかということ議論していただきます。

活動内容、主に2つです。Aコース、Bコースをつくっています。Aコースは、当日の催し物の企画、またパンフレットのデザインですとか作成、そして当日、式典当日の運営も担っていただくコースがAコース。そしてBコースは、思い出ムービーということでムービーを作成していただいて、これまでの成長ですとか、これからのことなどをいろいろ企画していただきながら、ムービーを作って当日流していく。この2コースをつくっています。

A、B両方とも選択していただくことも可能ですので、ぜひ20歳を迎える方だけではなくて、18歳から22歳の若い方々に、ぜひこの機会をやってみたいと思う方、手を挙げていただけたらうれしいです。参加者の方々が楽しいと思っただけのような二十歳(はたち)のつどいにリニューアルをしていきたいと思っております。アイデアのある皆さん、ぜひご応募ください。よろしく願いいたします。

そして4つ目が「安全・安心 No.1 の防災と北区強靱化」の取り組みから、「オンライン防災イベント」のご案内であります。これまで令和4年から4年、5年、6年と3回実施をしてまいりましたオンラインによる防災イベント「ザ・リモート」。今回はですね、在宅避難編ということで、これまで風水害対策、また地震編と行ってまいりましたが、新たな項目として、在宅避難についてのオンライン防災イベントを開催したいと思います。

今回、在宅避難編ということで、テーマを決めさせていただきました。東京都の地区防災、地域防災計画や北区の地域防災計画の中でも、在宅避難についての明記をしております。ただ、これまで在宅避難についての周知があまりされてこなかったことから、今回こういったイベントを通じて、多くの方々に在宅での避難についてお伝えをしていきたいなというふうに考えております。

どのような状況で避難者が多くなるか、また避難環境をどのように確保していくかによって、在宅での避難がふさわしい方々もいらっしゃるということで、特にマンションの防災などについては「とどまるマンション」といって、在宅避難を東京都としては推奨しています。区も同じく、その考え方を推進していくた

めに、在宅避難の周知を、これから区内でしっかりと行っていきたいと思っています。

第 1 弾として、在宅避難の「ザ・リモート」オンライン防災イベントとして開催をいたします。特にですね、地域での防災訓練になかなか出づらいなと、日程的にも出るのが難しい若い方々やご家族の方々にぜひ御活用、参加いただきたいと思っています。オンライン、ご家族でだとかお友達同士でお申し込みいただきまして、大体 1 時間半のプログラムなんですけども、かなりリアルな、そして勉強になる内容となっておりますので、皆さんご応募いただきたいと思います。これまでもこの 3 年、3 年間行ってきた中で、約 300 から 400 世帯の方々にご参加をいただき、大変ご好評をいただいております。実際の災害がイメージできるような映像だったとか、こういうことを準備しておく必要があるとは知らなかったなどなど様々な良いご意見もいただいておりますので、是非ご活用いただけたらなと思います。ご参加ください。

続きまして、「100 年先を見据えたまちづくり！」の中からドッグランの設置についてです。多くの区民の方々からドッグランを作ってほしいということをご声をお声をお願いしており、区の事業の計画の中ではまだ先だったのですが、前倒しをして、令和 7 年設置ということで、7 月 11 日にプレオープンではあるのですが、オープンをさせていただきたいと思っています。

場所がですね、荒川河川敷、荒川岩淵関緑地内、ちょうど川口に渡る、車で渡る橋の下あたりになるんですけども、そちらに大小 2 つのスペースを作りました。A エリア、B エリア。これはですね、ワンちゃんの大きさ、大きいワンちゃんと小さいワンちゃんと分けさせていただいております。大体 10 キロまでのワンちゃんが A エリア。大きい 10 キロ以上のワンちゃんが B エリアで安全に遊んでいただけたらなと思います。A エリアが約 150 平米、そして B エリアは 250 平米です。この荒川緑地、荒川河川敷の中で、区として活用できるスペースを最大限活用させていただき、このスペースを使いました。もっともっと広い方がいいよというお声もいただいておりますが、今作れる最大の大きさがこのサイズとなっております。

今回、プレオープンということで、時間、ご利用いただける時間を朝 9 時から夕方 5 時までとさせていただきます。1 年間試行で開催させていただきまして、その中でですね、愛犬家の方々や獣医師会の先生方、また地域の方々との連携を図りながら、どのような活用ができるのか協議を進めていきたいなと思っております。利用時間の延長や管理体制などもですね、利用者の方々とのコミュニケーションの中で、新たな運用について作っていきたく思っておりますので、ぜひご意見いただけたらと思っております。7 月 11 日のオープンに向けて登録をいただきたいと思っております。ご登録は 7 月の 1 日からとなっております。荒川知水資料館の北区事務室で行っております。アモアの事務所の中です。その場で発行できますので、ぜひ事務所の方にお越しいただき、手続きをとっていただければと思っております。

このドッグランは、区内の公園の魅力向上推進プランの一環として、初めてドッグランを設置しました。このドッグラン以外の区内の公園の魅力向上推進に向けて、その第 1 歩です。1 つ目の象徴的な取り組みとして、皆さんにご注目いただけたらいいなと思っております。ドッグラン以外の公園に向けても、しっかりと魅力向上を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

そして次です。「文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！」の中から、東京 2025 デフリンピック 100 日前イベントの実施についてです。東京 2025 デフリンピック、この開催を祝って、これまで区内でもさまざまなイベントを開催してきました。昨年からはデフアスリートをお迎えしての講演会ですとか、映画の上映、また体験イベントなども 1 年間開催してきました。そして、100 日前の今回、8 月の 9 日に赤羽体育

館の中でデフスポーツを体験いただくイベントを開催したいと思います。

今回、この体験会の中では、デフアスリートの方々にもお越しをいただいて、直接触れ合える機会もあります。直接こういうふうにするんだよということをお子たちに教えてもらいますので、ぜひ多くの方々に参加いただけたらと思います。

また、このデフリンピックなんですけど、少しご紹介させていただくと、デフというのは英語で耳が聞こえないという意味です。デフリンピックは4年に1回、オリンピックとパラリンピックと同じように4年に1回開催されている。耳が聞こえない、また聞こえづらい、聞こえにくいアスリートのための国際スポーツ大会です。2025年東京大会は、日本で初めて開催されるデフリンピックです。加えて、デフリンピックが始まってから100年という節目の記念すべき大会となります。この大会を東京全体で盛り上げていこうということで、さまざまな取り組みを行ってまいりました。北区では射撃が当日の会場となります。ただ、当日は、見学が種目の性質上できないということで、ぜひ今回の100日前イベントの中でご体験いただけたらなと思っております。

当日参加をいただけるアスリートの方々をご紹介させていただきます。元デフサッカーの男子日本代表伊賀崎俊さん。そしてデフバスケットボール日本代表候補の三瀬稜史選手、また川島真琴選手、丸山香織選手、東京都デフバスケットボール協会代表の川口彩雄氏をお迎えして開催させていただきます。ぜひ皆さんお越しください。

また当日ですね。同じ会場で、東京都が主催いたします東京2025世界陸上及びデフリンピックのPRブースも設けています。この中では、東京2025デフリンピック応援隊であります、しづさわくんも出演予定ですので、子供たち、ぜひ楽しんでいただけたらなと思います。しづさわくんとともにデフスポーツを体験いただきたいと思います。また、オリジナル缶バッジも、人数限定なんですけども、プレゼントしておりますので、ぜひ先着で、来ていただけたらなと思います。よろしく願いいたします。ご家族やお友達皆様のご来場ください。デフスポーツを見る、知る、体験する素晴らしい機会になると思います。これからも開催まで、北区としてデフスポーツ、デフリンピックをPR、周知していきたいなと思っています。

そして最後の項目です。「渋沢栄一プロジェクト」です。2019年に渋沢栄一翁が新一万円札の肖像になると発表されてから、区では公民連携、区民の方々との協働で、さまざまな渋沢栄一プロジェクトを続けてまいりました。特にですね、大河ドラマ館やおみやげ館の運営、また発行1年前は、発行カウントダウンプロジェクトとして、数多くのイベントや事業を開催してまいりました。日本で初めて、渋沢翁の名前がついた道路も北区内に誕生しました。これらの取り組みを発行後もぜひ続けていきたいという思いで、今回、「渋沢栄一プロジェクト」としてご紹介をさせていただきたいと思います。これからも北区ゆかりの偉人、渋沢栄一翁の精神を受け継ぎ、そしてそれを北区内外に、その魅力を北区の魅力とともに発信していきたいと思っています。

今回ご紹介いたしますイベントは2つです。1つ目は、渋沢栄一翁とその渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定を組ませていただいている12社の団体のうち、深谷市、渋沢栄一を生誕の地であります深谷市が開催いたします「お札サミット in ふかや」のイベントであります。このイベントの中で、紙幣発行1周年を記念して行われる7月3日の開催イベントです。これは紙幣をキーワードにいたしまして、北区を含むお札に関する全国の企業、団体とのネットワークを構築し、諸課題や未来展望について検討を深める場として、サミット宣言、また記念日登録の発表、若い番号のお札のお披露目などをしてまいります。私も参加いたします。

この深谷市で行われますお札サミット、北区区民の方々にも、ぜひ深谷の方に入ってくださいまして、

深谷と北区の渋沢のつながりを感じていただけたらなと思っています。また、深谷に渋沢栄一翁の見学でこられた方々が、その次は北区の渋沢資料館ですとか、渋沢庭園に訪れていただけるような、そんな連携もこれから強化していきたいと思っています。7月の3日木曜日、11時から16時30分までです。ぜひ深谷にみんなで行きましょう。

そして2点目は、講談師神田京子さんによる「大独演会 in 北区」です。講談で世の中を良くしたいという講談師神田京子さんの、芸歴25周年企画として始まった「渋沢栄一伝」を、新一万円札にちなんで、1万人に伝えるプロジェクトの記念すべきファイナルが、ファイナル公演が北区の北とぴあで開催されます。一番大きいさくらホールで開催されます。7月の6日、日曜日、1時半からです。今回、慈悲をテーマにした、北区から誕生した「渋沢栄一伝」と、同じ時期に生きた詩人、「金子みすゞ伝」を聞くことができます。

今回ご紹介させていただきますのは、この渋沢栄一にちなんだ講談を、ぜひ子どもたちに観ていただきたいということで、神田京子さんから、特別、北区の区内の小中学生、高校生も含めて、子どもたちの無料観覧席をご提供いただくこととなりました。子どもたち、なかなか講談に触れる機会がない子どもたちに対して、講談を通じて渋沢栄一翁の高い志を感じてもらいたい。また、その渋沢翁の精神が次世代に受け継がれることで、地域や社会への貢献ができる人材の育成にもつなげていきたいというお言葉をいただいております。この今回の募集、北区の一人1台端末で子どもたちに配られている端末から、きたコンの中から応募いただけるようになっております。また、北区の方にお問い合わせいただきましてもご応募いただけるようになっておりますので、北区のホームページ、または神田京子さんの今回の独演会のホームページ、また学校を通じて、さまざまそれぞれのところからご応募いただけますので、ぜひ区内の子どもたち、講談を通じた渋沢栄一翁を勉強していただけたら面白いなと思っています。たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

これからも北区ゆかりの偉人、渋沢栄一翁の精神を公民連携や協働の中で北区から発信し、広めていきたい。あわせて北区の魅力も区内外、全国、世界に発信していけたらと思っております。楽しみにしてください。よろしく願いいたします。以上で今月のテーマについてご報告させていただきました。ありがとうございました。

#### 【司会】

それでは、これより質疑応答に移らせていただきます。ご質問の際には、挙手のうえ職員が持参いたしますマイクを使ってご発言ください。ご発言の後は、マイクの電源をオフにさせていただきますようお願いいたします。まず、本日の記者会見の内容に関しましてご質問はございますでしょうか。

#### 【質問者 赤羽経済新聞】

赤羽経済新聞です。こんにちは。最後の神田京子さんの子どもの無料観覧席の募集なんですけども、事務的なことなんですけど、無料観覧席、いくつプレゼントされていて、いつまで申し込めるのか。今回から今からスタートしたのか、前から申し込みができたのかとか、その辺ちょっとお聞きしたいんですけども。

#### 【やまだ区長】

子どもと保護者の方もペアでということも想定いたしまして、50組、100席をご用意いただいております。

神田京子さんの大独演会ホームページ、検索していただいて、その一番下のお問い合わせのところから受付も可能です。子どもたちの無料観覧席以外の有料席については全部完売しておりますので、両方入っているんですけども、一番下の無料観覧席のところからご応募いただくこととなっています。

また、北区のシティブランディング課にもお問い合わせいただければ、お申し込みいただけることにもなっています。もう一つは、子どもたち、区立の小中学校に配布しておりますタブレット、このタブレットの、「きたコン」というんですけれども、「きたコン」の中にご応募いただけるコーナーをつくっていると聞いていますので、そこから子どもたちが応募していただくことも可能です。この3つのパターンでご応募いただけたらと思います。

【質問者 赤羽経済新聞】

ありがとうございます。

【司会】

その他ご質問いかがでしょうか。

【質問者 毎日新聞】

毎日新聞のハラと申します。

デフスポーツ体験についてなんですけれども、これは聴覚障害あるなしにかかわらず、年齢に関わらず参加できるということよろしいでしょうか。

【やまだ区長】

はい、もちろんです。障害のある方、ない方、すべてご参加いただけます。特に子どもたちにデフスポーツを体験してもらいたいというところで、今回、健常者の子どもたちにも多く来てもらえたらなと思っています。お子さんの年齢制限は特に設けてないですね。ご家族でみんなで来ていただいて、体験していただけたらと思います。

【質問者 毎日新聞】

それから、聴覚障害のある方も多くいらっしゃるかなとは思いますが、情報保障の方、例えば手話通訳などはいかがでしょう。

【やまだ区長】

手話通訳の方にも入っていただいて、開催できるようになっています。デフスポーツの方々がやっぱり聴覚障害をお持ちですから、その方々と健常者の方をつなぐための、デフアスリートの方が言葉をお伝えするときに、手話通訳の方に入っていただいてという流れになりますので、情報保障はきちんとできております。

【質問者 毎日新聞】

ありがとうございます。

【司会】

その他ご質問いかがでしょうか。

**【質問者 東京新聞】**

東京新聞カトウと申します。お願いします。デジタル商品券なんですけど、5,000円4口で20%のプレミアム、この20%にしたっていうのはどういうお考えからなんでしょうか。

**【やまだ区長】**

最初にですね、デジタル共通商品券、それから紙の商品券もそうなんですけども、発行したときは10%から始まったんです。やっぱり経済対策で、お子さんをお持ちの世帯と高齢者に向けては15%ということで分けて、さらにプレミアム率を上げてきたんですけれども、こういった経済状況の中で、昨年から20%に、経済対策として20%に全体で上げました。お子様、それから高齢者関係なくプレミアム付き商品券は今、マックス20%でやらせていただいております。

今後どのような形になるか、社会情勢に合わせて検討していきたいと思っておりますが、現状、物価高対策として20%で発行していきたいなと思っております。はい。

**【司会】**

その他ご質問いかがでしょうか。

それでは記者会見、以上で終了とさせていただきます。ありがとうございました。

**【やまだ区長】**

ありがとうございました。